

新規事業、M&Aプロジェクト検討のための必須知識

会計・財務分析

よくわかる・事業投資・企業価値の 評価と価値向上策

事業投資、M&Aにおける事業や企業の価値や株主価値の評価とその向上策の策定に携わる、経営企画、財務、事業部門担当者などの方にお勧めの講座です

セミナーのねらい

新規事業プロジェクトの検討、海外進出プロジェクトの検討、事業部門のM&A、企業全体のM&Aなど、投資案件を評価する機会が増えています。この講座では、事業投資、企業価値を評価する方法と、それを高めていくための方策について学んでいきます。

評価の前提となる、企業の置かれている状況についての定性分析、財務比率の分析、また、実際の評価の際に必要な、資本コスト(WACC)、フリーキャッシュフロー、NPV、IRRの意味と内容あるいは計算方法を確認した上で、事業投資やM&Aにおける企業価値・株主価値の評価方法、最適資本構成について具体的なケースをもとに学んでいきます。さらにそれらの評価を高めるための具体的な方策についても取り上げます。

事業投資、M&Aにおける企業価値・株主価値の評価やその向上策の策定に携わる、経営企画、財務、事業部門担当者などの方にお勧めのコースです。

西山 茂 氏

早稲田大学 大学院経営管理研究科
(ビジネススクール)教授



早稲田大学政治経済学部卒業、ペンシルベニア大学ウォートンスクール修了(MBA)、博士(学術)早稲田大学。公認会計士。監査法人トーマツ等を経て2002年から早稲田大学で教鞭を執り、06年から現職。主な著書に『入門ビジネスファイナンス』『企業分析シナリオ(第2版)』『「専門家」以外の人のための決算書&ファイナンスの教科書』(東洋経済新報社)、『MBAアカウントティング(改訂3版)』『戦略管理会計(改訂2版)』(ダイヤモンド)、『増補改訂版 英文会計の基礎知識』(ジャパンタイムズ)、『ビジネススクールで教えている会計思考77の常識』(日経BP)など。

プログラム

- 外部環境と内部環境の整理
- 過去の財務諸表の分析と事業計画
- フリーキャッシュフロー
- 割引率と資本コスト
- 投資プロジェクトの評価方法
- 企業価値・株主価値の評価とその向上策
- 最適資本構成
- まとめ

日時

2019年12月2日(月)

10:00～17:00

会場

日本経済新聞社6階
「日経・大手町セミナールーム1」
(日経カンファレンス&セミナールーム内)

受講料

38,500円(税込み)

対象者

マネージャー、リーダー、経営幹部、
次世代幹部、部長、課長、事業部長

レベル

基礎

WEB検索番号:P1901723